

# 総務教育常任委員会資料

(平成25年2月22日)

〔件名〕

・「鳥取県に関するイメージ調査」の結果について

【未来戦略課】・・・1

未来づくり推進局

# 「鳥取県に関するイメージ調査」の結果について

平成25年2月22日  
未 来 戦 略 課

## 1 調査概要

### (1) 目的

鳥取県のイメージ及び地域資源の認知度、観光・余暇等について、県外居住者が感じている意識や、求めているニーズを把握することにより、今後の県外情報発信や魅力向上の方策を探る。

### (2) 調査対象及び調査方法

大手リサーチ会社に委託し14都府県に居住する各年代別男女5,400人を対象に平成24年12月に実施。

〔内訳〕首都圏2,400人（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県各600人）、中京300人（愛知県）、  
関西圏900人（大阪府・兵庫県・京都府各300人）、中国・四国1,500人（広島県・岡山県・  
愛媛県・香川県・徳島県各300人）、九州圏300人（福岡県）

## 2 結果概要（詳細は別添のとおり）

今回の調査について、前回調査（平成24年1月実施）との比較では、全体としては、特に大きな変化はみられず概ね同様の結果であったが、「まんが王国とっとり」に関する認知は向上している。

### ○本県に対するイメージ

・連想されるもの：約8割が「鳥取砂丘」と回答

・連想する色：「ブラウン系」と「イエロー系」の2項目で5割強

⇒「鳥取県＝鳥取砂丘」のイメージが非常に強い。

### ○特産物、観光地の認知度等

・話題認知度：「ゲゲゲのふるさと鳥取県」が6割強と突出し、特に誘客圏である中国・四国及び関西圏で高い傾向がみられた。一方で「ひとつもない」が3割強もあった。また、「まんが王国とっとり」が前回調査から9ポイント上昇した。

・特産物認知度：「二十世紀梨」が6割強と突出。次いで「砂丘らっきょう」(37%)、「松葉がに」(29%)が続いた。いずれのエリアも若年層になるほど認知度が低くなる傾向。

・観光地認知度：「鳥取砂丘」は9割強の認知度、「水木しげるロード」(59%)、「大山」(40%)が続いた。首都圏及び中京圏では他エリアに比べ「鳥取砂丘」を除く他の観光地の認知度が低い状況。

### ○訪問意向等

・鳥取県へ「行ってみたい」と答えた人は75%、特に関西圏での訪問意向が高い。

・魅力が不足する点として「交通の便」(48%)、魅力向上に必要な分野として「交通網の整備」(27%)がそれぞれ最多の回答、また本県への訪問をためらう回答をした約1,300人の理由が「遠い・不便」であったことから、依然として「鳥取県は遠い」というイメージが強いことがうかがえた。

### ○情報の入手経路等

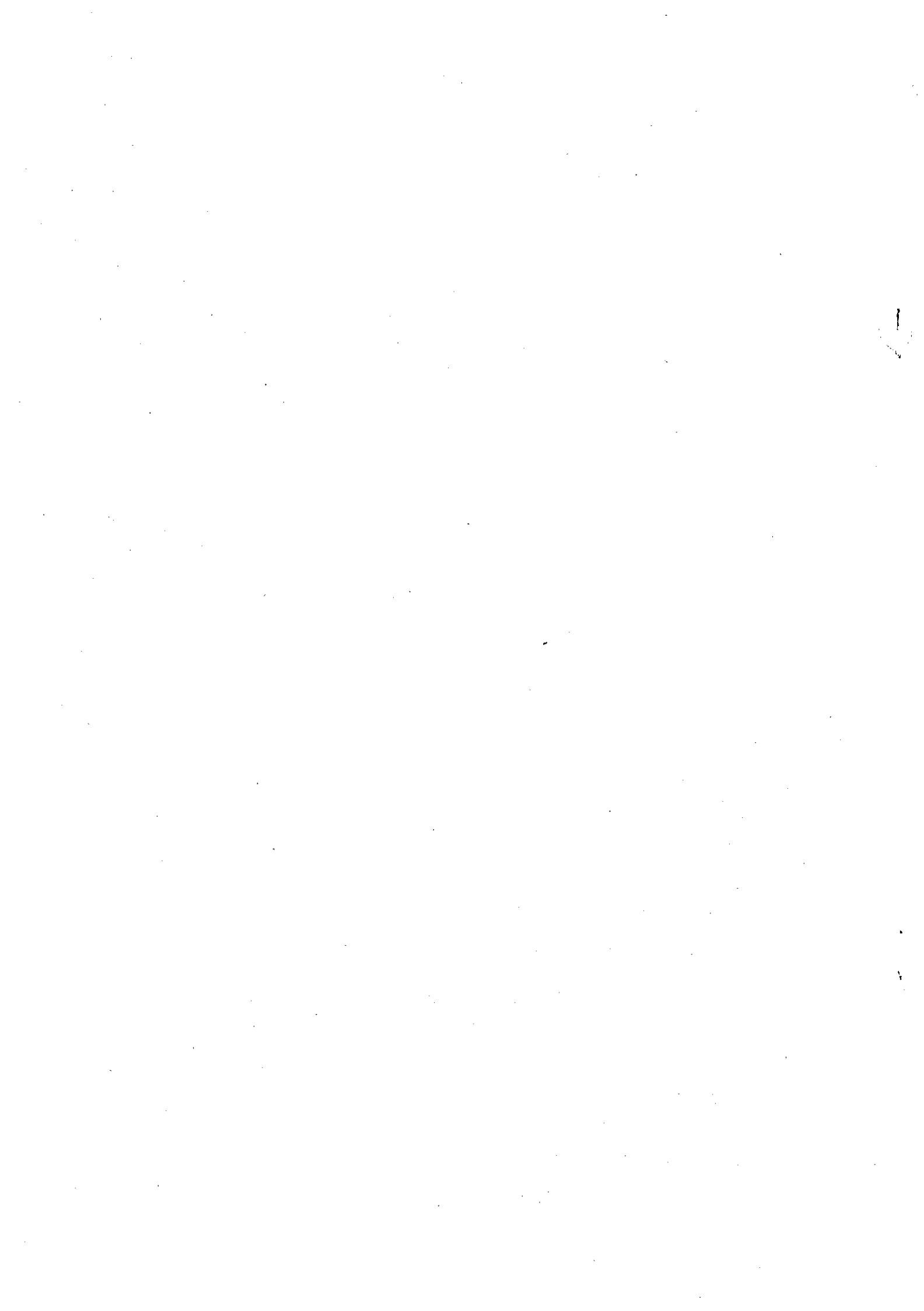
・情報の入手経路として「テレビ」〔番組+CMの合算〕(35%)が突出し、次いで「インターネット」〔SNS+それ以外の合算〕(11%)、「旅行雑誌」(10%)と続いた。一方で「わからない・特にない」が約3割もあった。また、魅力向上に必要な分野として新たに選択肢に加えた「情報発信」(15%)が「交通網の整備」に次いで高いことから、継続的かつ効果的な情報発信が求められている。

## 3 今後の対応

・県外情報発信担当部局との情報共有・連携をより密にし、調査結果を踏まえ各エリアの特性を勘案した効果的な情報発信を継続展開する。

・テレビ、インターネットを媒体にした情報発信をより強化する。

・今後も定期的に調査を実施し、情報発信の効果の把握、必要な対策を講ずるために活用していく。



# 「鳥取県に関するイメージ調査」結果

- 目的 鳥取県のイメージ及び地域資源の認知度・観光・余暇等について県外居住者が感じている意識や、求めているニーズを把握することにより、今後の県外情報発信や魅力向上の方策を探る。(本調査は昨年度に続き2回目)
- 対象 14都府県 5,400人(内訳は下表のとおり)
- 調査方法 大手インターネットリサーチ会社を活用し、平成24年12月21日から25日にかけて実施

		n												
		男性 10代	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代以上	女性 10代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代以上	
エリア×年代	全体	5400	273	625	452	450	450	450	321	579	450	450	450	450
	首都圏	2400	133	287	200	200	200	200	165	235	200	200	200	200
	東京都	600	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	神奈川県	600	36	64	50	50	50	50	40	60	50	50	50	50
	埼玉県	600	29	71	50	50	50	50	38	64	50	50	50	50
	千葉県	600	18	82	50	50	50	50	39	61	50	50	50	50
	中京	300	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
	愛知県	300	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
	関西圏	900	70	80	75	75	75	75	70	80	75	75	75	75
	大阪府	300	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
	兵庫県	300	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
	京都府	300	20	30	25	25	25	25	20	30	25	25	25	25
	中国・四国	1500	30	218	127	125	125	125	38	214	125	125	125	125
	広島県	300	10	40	25	25	25	25	10	40	25	25	25	25
	岡山県	300	7	43	25	25	25	25	14	38	25	25	25	25
徳島県	300	2	48	27	25	25	25	4	48	25	25	25	25	
香川県	300	5	45	25	25	25	25	2	48	25	25	25	25	
愛媛県	300	6	44	25	25	25	25	6	44	25	25	25	25	
九州圏	300	15	35	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	
福岡県	300	15	35	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	

- 【凡例】
- 全体値より10%以上高いもの
  - 全体値より5%以上高いもの
  - 全体値より5%以上低いもの
  - 全体値より10%以上低いもの
- ※以降のページに適用

## 2. 対象者プロフィール②

職業		(a)								
		自営業	会社役員・6年役員	会社員	公務員・団体職員	パート・アルバイト	学生	専業主婦/主夫	無職	その他
前回全体	(5400)	6.2	2.5	31.7	5.3	10.7	15.3	17.3	6.8	2.0
今回全体	(5400)	7.0	3.0	31.1	4.5	11.7	13.3	17.4	9.5	2.5
エリア										
首都圏	(2400)	5.5	2.9	34.0	3.8	10.8	14.3	17.4	9.0	2.7
関西圏	(900)	8.4	2.6	26.4	3.7	12.4	16.5	17.4	10.3	2.1
中京	(300)	6.3	4.0	32.3	4.0	12.3	15.7	16.7	7.3	1.3
中国・四国	(1500)	6.3	3.0	29.5	3.9	12.8	8.3	17.7	10.8	2.7
九州圏	(300)	6.7	3.7	29.7	3.0	10.7	17.3	17.3	7.0	2.7

【対象者:全員】

業種		(a)															
		農林水産業	建設業	製造業	エネルギー関連	通信・IT関連	運輸・郵便業	娯楽・小売業	金融・保険業	不動産業	研究開発・専門・技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	教育・学習支援業	医療・福祉関連	政府・団体等	広告・出版・放送業	その他
前回全体	(3163)	0.7	5.3	15.6	1.1	7.3	3.3	11.4	4.4	2.1	4.3	3.6	6.8	8.8	4.8	1.3	19.2
今回全体	(3223)	1.1	5.8	17.2	0.7	5.2	3.7	11.1	3.2	2.7	3.1	3.8	6.1	7.9	4.1	1.5	22.1
エリア																	
首都圏	(1425)	0.5	6.0	16.9	0.6	8.3	3.6	9.8	4.2	3.2	3.6	3.3	5.2	5.8	3.7	2.1	23.2
関西圏	(501)	1.2	5.2	17.6	0.4	4.8	4.2	9.8	3.0	3.0	1.8	6.8	6.0	9.0	3.0	1.0	22.6
中京	(181)	-	5.5	20.4	1.1	3.9	2.8	12.2	2.8	2.2	4.4	1.7	6.1	8.3	5.6	0.6	22.7
中国・四国	(947)	2.4	5.5	17.6	0.8	3.3	3.8	13.0	2.4	1.8	2.6	3.8	7.3	10.2	4.8	1.3	19.4
九州圏	(175)	0.6	8.6	13.1	1.1	5.7	4.0	14.3	0.8	2.3	2.9	1.7	8.0	8.0	2.9	1.1	25.1

【対象者:有職者】

世帯年収		(a)						
		~100万円未満	100万円以上~300万円未満	300万円以上~500万円未満	500万円以上~1000万円未満	1000万円以上~1500万円未満	1500万円以上	その他
前回全体	(5400)	10.0	16.6	27.3	19.4	15.7	8.0	9.0
今回全体	(5400)	11.8	17.5	25.9	18.9	15.9	7.6	2.5
エリア								
首都圏	(2400)	11.0	14.4	24.4	19.8	18.1	9.7	3.2
関西圏	(900)	13.4	20.3	27.0	16.0	14.3	6.3	2.5
中京	(300)	8.7	14.7	22.7	20.7	21.5	6.8	2.7
中国・四国	(1500)	12.5	20.9	28.1	18.5	12.5	5.7	1.5
九州圏	(300)	13.7	19.0	26.7	19.3	13.7	5.7	2.0

【対象者:全員】

## 結果の要約①

1 鳥取県への訪問経験・関与状況について
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 本調査の全対象者(5400名)のうち、「鳥取県」を訪れたことがある人は44%(前回:50%)、居住経験者は1%。訪問経験者は、中国・四国、関西圏で6割台と高い。中京、九州圏が約4割弱。首都圏は2割台で最も低い。</li> <li>■ 各エリアとも年代が高いほど訪問経験率も上昇する傾向がみられる。中国・四国、関西圏以外のエリアでは、若年層の訪問経験率の低さが目立つ。</li> <li>■ 家族や親戚、友人で、「鳥取県」に住んでいる人が「いる」と回答した人は9%。近隣府県が含まれる中国・四国、関西圏で高い。</li> </ul>
2 鳥取県に対するイメージについて
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「鳥取県」と言われて連想するもの(自由回答)は、「鳥取砂丘」(76%)が前回(79%)に続いて圧倒的であり、それ以外の回答は1割に満たない。</li> <li>■ 「鳥取県」を連想する色は、「ブラウン系」「イエロー系」が前回と順番が入れ替わったものの双璧で、合わせると過半数を握っており、依然「鳥取砂丘」のイメージが強いことがわかる。</li> <li>■ 「鳥取県」に対して持っているイメージ(1つ選択)は、「田舎」(22%)、「のんびり」(19%)、「地味」(17%)が上位。今回新規設定した選択肢「のんびり」が2位にランキングした。</li> <li>■ 前回、過半数を占めていた「田舎」「地味」(合計51%)イメージが、今回は13ポイント低下した(合計39%)。一般的にネガティブイメージとされている要素が改善された。</li> <li>■ 「鳥取県」に最もあてはまる県のイメージ(1つ選択)は、「自然環境に恵まれた県」(44%)が突出。以下、「古い歴史と豊かな文化に恵まれた県」(9%)、「おいしいものが豊富な県」(8%)、「人情味豊かな県」(5%)、「犯罪が少なく安全な県」(4%)が続く。一方、「わからない・特になし」が1/4を占めており、特に首都圏、中京で高い。</li> <li>■ 「鳥取県」の天候に対するイメージ(1つ選択)は、「曇天」(21%)が前回(24%)に続いて最も高く、次いで「晴れ」(17%)、「風が強い」(14%)、「雪」(12%)。</li> <li>■ 前回とほぼ同様の傾向。ただし、今回新規設定した選択肢「風が強い」が3位にランキングした。中国・四国では「暑」イメージが強いのが目立つ。</li> </ul>
3 鳥取県の特産物・観光地について
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 最近の「鳥取県」に関する話題で聞いたことがあるものは、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」(58%)が6割で突出。それ以外の話題については、接触率は乏しく、「まんが王国とっとり」(13%)、「全天候型砂痕展示施設「砂の美術館」」(8%)など、1割台以下のスコアとなっている。</li> <li>■ 前回と比較して、「まんが王国とっとり」が9ポイント上昇。</li> <li>■ 「ゲゲゲのふるさと鳥取県」の接触率は、エリア別では中国・四国、関西圏の近隣府県で高い。</li> </ul>

3

## 結果の要約②

3 鳥取県の特産物・観光地について (つづき)
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「鳥取県」が産地である(農産物・畜産物・水産物)の認知は、「二十世紀梨」(65%)がトップ。以下「砂丘らっきょう」(37%)、「松葉がに(ズワイガニ)」(29%)。</li> <li>■ 食用経験は、「二十世紀梨」(52%)、「松葉がに(ズワイガニ)」(17%)、「砂丘らっきょう」(14%)。</li> <li>■ 食用意向は、「二十世紀梨」(38%)、「松葉がに(ズワイガニ)」(34%)、「メロン(倉吉プリンスメロン、アムスメロン)」「イチゴ(紅ほっぺ、章姫)」(各24%)。</li> <li>■ すべての指標で、「二十世紀梨」「松葉がに(ズワイガニ)」は上位にランキングしている。</li> <li>■ どの指標も、前回とほぼ同様の傾向。</li> <li>■ 中国・四国、関西圏では全体的に認知率・食用経験率が高い。また、どのエリアも高年代層ほど認知率・食用経験率が高い傾向。食用意向は、関西圏の全年代層で「二十世紀梨」、中国・四国50・60代以上で「松葉がに(ズワイガニ)」の高さが目立つ。九州圏60代以上では、食用意向のある特産物が多岐にわたっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「鳥取県」の(観光地など)の認知は、「鳥取砂丘」(93%)が非常に高い。次いで、「水木しげるロード」(59%)、「大山」(40%)、「養生温泉」「白兎海岸・白兎神社」(各29%)、「三朝温泉」(27%)。</li> <li>■ 訪問経験は、「鳥取砂丘」(37%)、「大山」(21%)、「水木しげるロード」「養生温泉」(各14%)、「三朝温泉」(12%)。</li> <li>■ 訪問意向は、「鳥取砂丘」(48%)、「水木しげるロード」(32%)、「砂の美術館」(21%)、「三朝温泉」(20%)。</li> <li>■ すべての指標で、「鳥取砂丘」「水木しげるロード」は上位にランキングしている。</li> <li>■ どの指標も、前回とほぼ同様の傾向。</li> <li>■ 中国・四国、関西圏では全体的に認知率・訪問経験率が高い。また、中国・四国、関西圏、九州圏などは高年代層の認知率・訪問経験率が高い傾向。</li> <li>■ 訪問意向は、関西圏で「水木しげるロード」「三朝温泉」「大山」、中国・四国で「養生温泉」「大山」「とっとり花園」、九州圏で「水木しげるロード」が高い。また、「鳥取砂丘」は首都圏20~50代、関西圏20代、中京20~40代、九州圏20~40代で高い。関西圏40~60代以上、中国・四国40~60代以上、九州圏50・60代以上では、訪問意向の高い場所が多岐にわたっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「鳥取県」に関して(魅力的だと思うもの)(1つ選択)は、「自然環境(地形・景観)」(44%)、「食べ物」(22%)、「歴史・文化」「まちの景観」(各10%)。「食べ物」においては中国・四国の割合が高い。</li> <li>■ (魅力が不足していると思うもの)(1つ選択)は、「交通の便」(48%)、「産業」(21%)、「娯楽」(17%)。</li> <li>■ (魅力的だと思うもの)(魅力が不足していると思うもの)ともに前回と同様の傾向。</li> <li>■ (魅力点-魅力不足点)のスコアをみると、「自然環境」が+43ポイントで「鳥取県」の最大の魅力という評価。「食べ物」(+20ポイント)も好評。一方、「交通の便」は-48ポイントと、マイナス要素が極めて高い。また、「産業」(-20ポイント)、「娯楽」(-16ポイント)も魅力点として乏しい。</li> </ul>

4

## 結果の要約③

### 3. 鳥取県の特産物・観光地について (うづ)

- 「鳥取県」に関する主な情報入手経路(1つ選択)は、「テレビ番組」(32%)が3割で最も高い。以下、「旅行雑誌」(10%)、「インターネット(SNS以外のHP、掲示板、ブログ等)」(9%)、「ロコミ」(4%)。
- エリア別による差はほとんどみられない。
- 「鳥取県」について得たい情報(1つ選択)は、「グルメ」・「観光」(各17%)が同率でトップ。以下、「温泉」(11%)、「特産・名産」・「景観・景勝」(各8%)。
- エリア別による差はほとんどみられないが、トップスコアは中国・四国、関西圏では「グルメ」、首都圏、中東、九州圏では「観光」となっている。

### 4. 今後の鳥取県への訪問意向について

- 「鳥取県」に行ってみたいと答えた人は75%。前回(78%)とほぼ同様。
- 関西圏(83%)で訪問意向率が8割を超えている。各エリアとも高年代層で高い傾向。関西圏20代以上、中国・四国30代以上、中東40代以上、九州圏50代以上、首都圏60代以上では、訪問意向率が概ね8割以上となっている。
- 「鳥取県」に行きたくないと回答した人の理由は、「遠い・不便」(20%)、「行く理由がない」・「魅力を感じない」(各17%)、「情報がない」(10%)。
- 中国・四国では「既に行ったことがある」、九州圏では「行く理由がない」が高い。また、関西圏では、全体トップの「遠い・不便」という理由は低く、「わからない・特になし」が最も高い。
- 今後、「鳥取県」を訪れる場合の主要目的(1つ選択)は、「自然で癒される」(28%)、「温泉でリフレッシュする」(22%)が2割台で上位。以下、「歴史や文化に触れる」(15%)、「食を楽しむ」(13%)が1割台で続く。
- 首都圏で「自然で癒される」、中国・四国、関西圏で「温泉でリフレッシュする」が高い。
- 今後、最も行ってみたい都道府県(3つ選択)は、「北海道」(58%)、「沖縄県」(54%)が突出。以下、「京都府」(24%)、「東京都」(17%)、「鹿児島県」(12%)。
- 「鳥取県」は4%で15位(前回は12位)。

5

## 結果の要約④

### 4. 今後の鳥取県への訪問意向について (うづ)

- 行ってみたい都道府県をランキングした場合、「鳥取県」の順位は、「31~47位」(35%)、「21~30位」(29%)、「11~20位」(23%)、「1~10位」(14%)。
- 関西圏では「11~20位」の比率が高く、「31~47位」の比率が低い。その結果、「20位以内」(47%)と回答した人の割合が最も高いエリアとなっている。
- 「鳥取県」に訪問・居住経験がある」と回答した人の、「鳥取県」の(「おもてなし」に対する)満足度は37%。内訳は、「非常に満足」(4%)、「概ね満足」(33%)。
- エリア別による満足度に差はみられない。

### 5. 「国際まんが博」について

- 「国際まんが博」(8/4~11/25)が開催されたことに対する認知率は15%。
- 中国・四国(21%)、関西圏(20%)では、認知率が2割を超えている。
- 「国際まんが博」開催認知者による、「国際まんが博」開催の認知経路は、「テレビ番組」(38%)が4割で最も高い。以下、「インターネット(SNS以外のHP、掲示板、ブログ等)」(18%)、「新聞・雑誌」(14%)、「インターネット」(Facebook、mixi、Twitter等のSNS)(6%)、「テレビCM」(5%)、「ロコミ」(4%)。
- エリア別に見ると、「テレビ番組」は中東、九州圏、「インターネット(SNS以外のHP、掲示板、ブログ等)」は九州圏、「新聞・雑誌」は中東の割合が高い。

6

# 1-1. 鳥取県への訪問経験

- ◆ 『鳥取県』への訪問経験をみると、「訪れたことがある」人(44%)、「一度も行ったことがない」人(55%)となっている。また、「居住したことがある」人は1%存在する。
- ◆ 前回との比較では、訪問経験率が若干低下している。
  - ▶ エリア別でみると、中国・四国(広島県・岡山県・愛媛県・香川県・徳島県)と関西圏(大阪府・兵庫県・京都府)では訪問経験者が6割以上を占めており、他エリアに比べて高い。一方、首都圏(東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県)、中京(愛知県)、九州圏(福岡県)では訪問経験率が相対的に低く、4割を下回っている。
  - ▶ エリア×年代別でみると、どのエリアも年代層が高いほど訪問経験率も高い傾向がみられる。

Q5. あなたは、鳥取県を訪れたことがありますか。(ひとつだけ)

	(n)	訪問経験あり or 居住経験あり計		(%)
		訪れたことがある	一度も行ったことがない	
前回全体	(5400)	2400	2900	50.4
今回全体	(5400)	2390	3010	45.1
首都圏	(2400)	1070	1330	25.5
10代	(298)	107	191	11.7
20代	(502)	151	351	15.3
30代	(400)	220	180	22.3
40代	(400)	273	127	27.8
50代	(400)	305	95	33.6
60代以上	(400)	413	0	44.0
関西圏	(900)	791	109	65.8
10代	(140)	479	0	49.3
20代	(160)	439	21	51.3
30代	(150)	510	40	56.7
40代	(150)	730	20	76.7
50代	(150)	780	70	78.7
60代以上	(150)	787	63	82.0
中京	(300)	370	0	36.0
10代	(50)	100	0	18.0
20代	(50)	290	0	28.0
30代	(50)	300	0	30.0
40代	(50)	300	0	28.0
50代	(50)	450	0	46.0
60代以上	(50)	300	0	66.0

	(n)	訪問経験あり or 居住経験あり計		(%)
		訪れたことがある	一度も行ったことがない	
前回全体	(5400)	2400	2900	50.4
今回全体	(5400)	2420	2980	45.1
中国・四国	(1500)	650	850	66.7
10代	(66)	67	0	56.1
20代	(432)	481	0	49.1
30代	(252)	290	62	63.1
40代	(250)	740	0	75.6
50代	(250)	750	0	77.2
60代以上	(250)	820	70	84.0
九州圏	(300)	230	70	38.3
10代	(40)	110	0	15.0
20代	(60)	230	30	23.3
30代	(50)	220	30	34.0
40代	(50)	400	0	40.0
50代	(50)	410	40	54.0
60代以上	(50)	420	30	62.0

[対象者:全員]

# 1-2. 鳥取県在住の家族・親戚・友人の有無

- ◆ 家族や親戚、友人で『鳥取県』に住んでいる人が「いる」と回答した人は9%。
- ◆ 前回とほぼ同様。
  - ▶ エリア別でみると、関西圏、中国・四国で家族や親戚が「いる」割合が高い傾向。
  - ▶ エリア×年代別では、中国・四国、関西圏といった近隣地域では、若年層の割合が高くなっている。

Q6. あなたの家族や親戚、友人で鳥取県に住んでいる人がいますか。(ひとつだけ)

	(n)	有無		(%)
		いる	いない	
前回全体	(5400)	120	5280	9.0
今回全体	(5400)	109	5291	9.0
首都圏	(2400)	65	2335	9.5
10代	(298)	54	244	9.4
20代	(502)	70	432	9.3
30代	(400)	60	340	9.8
40代	(400)	52	348	9.2
50代	(400)	60	340	9.2
60代以上	(400)	63	337	9.3
関西圏	(900)	131	769	8.7
10代	(140)	143	0	85.7
20代	(160)	140	20	84.4
30代	(150)	107	43	89.3
40代	(150)	67	83	91.3
50代	(150)	100	50	66.0
60代以上	(150)	107	43	83.3
中京	(300)	50	250	9.0
10代	(50)	60	0	92.0
20代	(50)	60	0	92.0
30代	(50)	60	0	92.0
40代	(50)	60	0	98.0
50代	(50)	60	0	98.0
60代以上	(50)	60	0	98.0

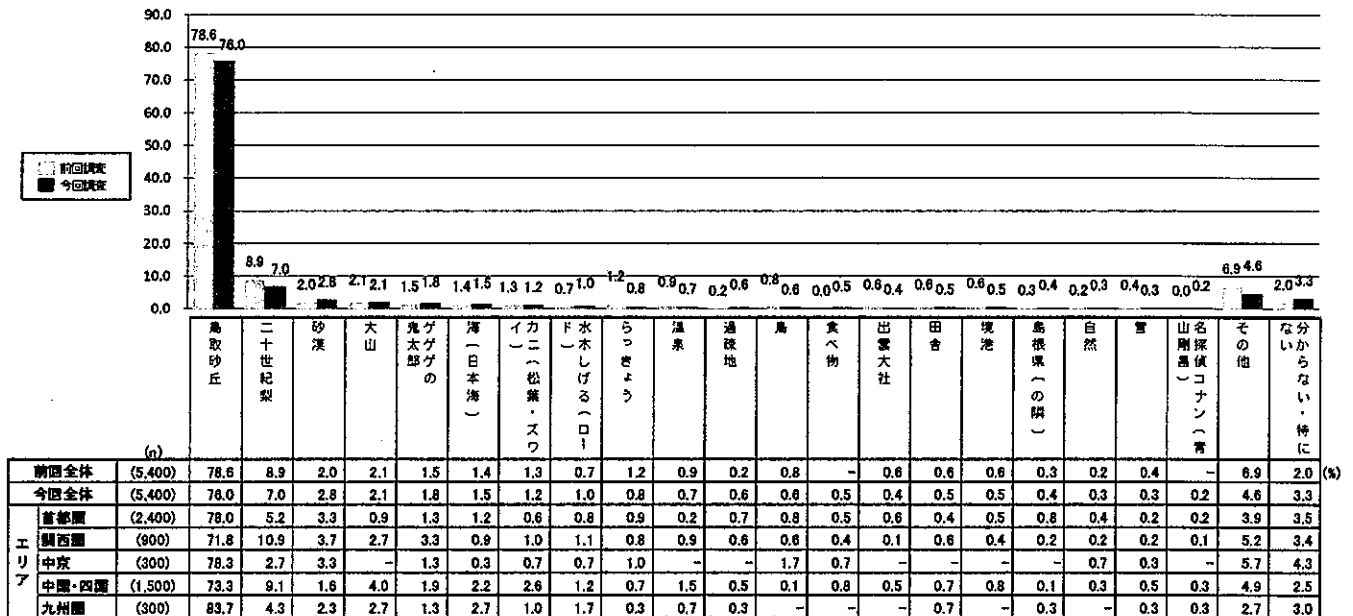
	(n)	有無		(%)
		いる	いない	
前回全体	(5400)	120	5280	9.0
今回全体	(5400)	94	5306	9.0
中国・四国	(1500)	120	1380	8.7
10代	(66)	212	0	75.8
20代	(432)	100	332	85.4
30代	(252)	100	152	88.1
40代	(250)	72	178	92.8
50代	(250)	152	98	85.8
60代以上	(250)	100	150	88.4
九州圏	(300)	67	233	9.3
10代	(40)	70	0	92.5
20代	(60)	110	0	90.0
30代	(50)	100	0	90.0
40代	(50)	100	0	94.0
50代	(50)	100	0	90.0
60代以上	(50)	80	0	92.0

[対象者:全員]

## 2-1. 『鳥取県』と言われて連想するもの

- ◆ 『鳥取県』と言われて連想するものとして「鳥取砂丘」(76%)が突出して高い。
- ◆ 前回とほぼ同様の傾向となっている。
  - ▶ エリア別で見ても、各エリアとも「鳥取砂丘」が突出して高く、九州圏で特に顕著。なお、中京では「二十世紀梨」が他のエリアよりやや低い。

Q7-1. あなたは、「鳥取県」と言われて何を連想されますか。(自由回答)



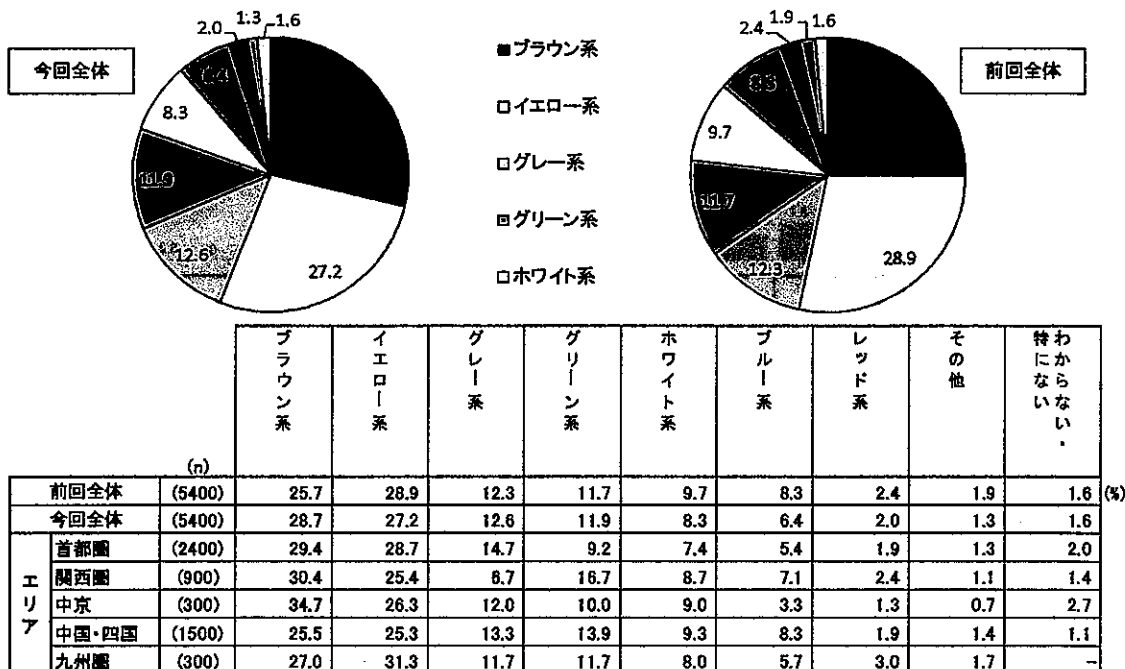
【対象者: 全員】

9

## 2-2. 鳥取県の色

- ◆ 『鳥取県』を色で表現するものとして「ブラウン系」(29%)と「イエロー系」(27%)がトップ2。「鳥取砂丘」のイメージが強いことがうかがえる。以下、「グレー系」(13%)、「グリーン系」(12%)、「ホワイト系」(8%)と続く。
- ◆ 前回とはトップ2が入れ替わったほか、同様の結果となっている。
  - ▶ エリア別で見ると、九州圏で「イエロー系」(31%)が「ブラウン系」(27%)を上回ったほか、各エリアともこの2色が同等水準でトップ2。また、関西圏と中国・四国は「グリーン系」が3割目に高い一方、首都圏では10%を切っている。

Q7-2. 鳥取県を色で表現するとすれば何色でしょうか。(自由回答)



【対象者: 全員】

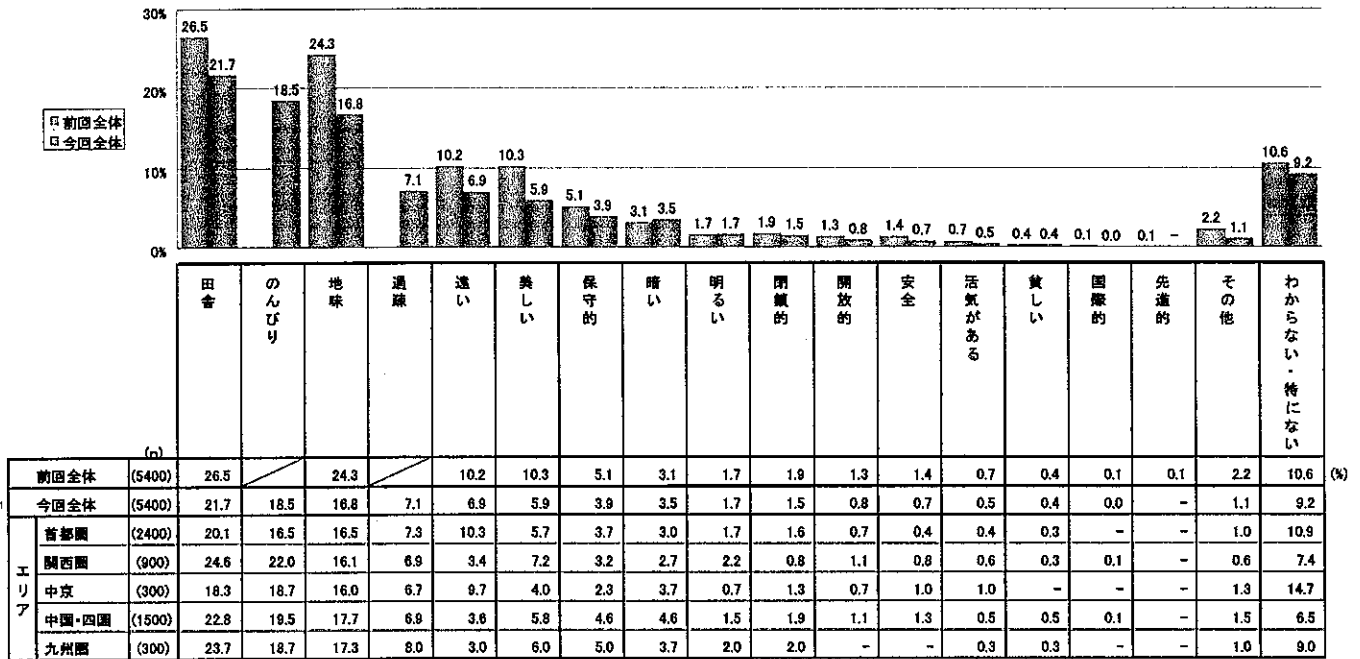
10



## 2-3. 鳥取県に対するイメージ

- ◆ 『鳥取県』に対して持っているイメージは、「田舎」(22%)、「のんびり」(19%)、「地味」(17%)が上位3位。以下、「過疎」「遠い」(各7%)、「美しい」(6%)となっている。
- ◆ 前回と比較すると、1位の「田舎」が5ポイント、3位の「地味」が8ポイント低下している。また、前回選択肢になかった「のんびり」が2位となっている。
- ▶ エリア別に見ると、中東で「わからない・特にない」が若干高い。

Q8. あなたが鳥取県に対して持っているイメージに最も当てはまるものを、1つ選んでください。(ひとつだけ)



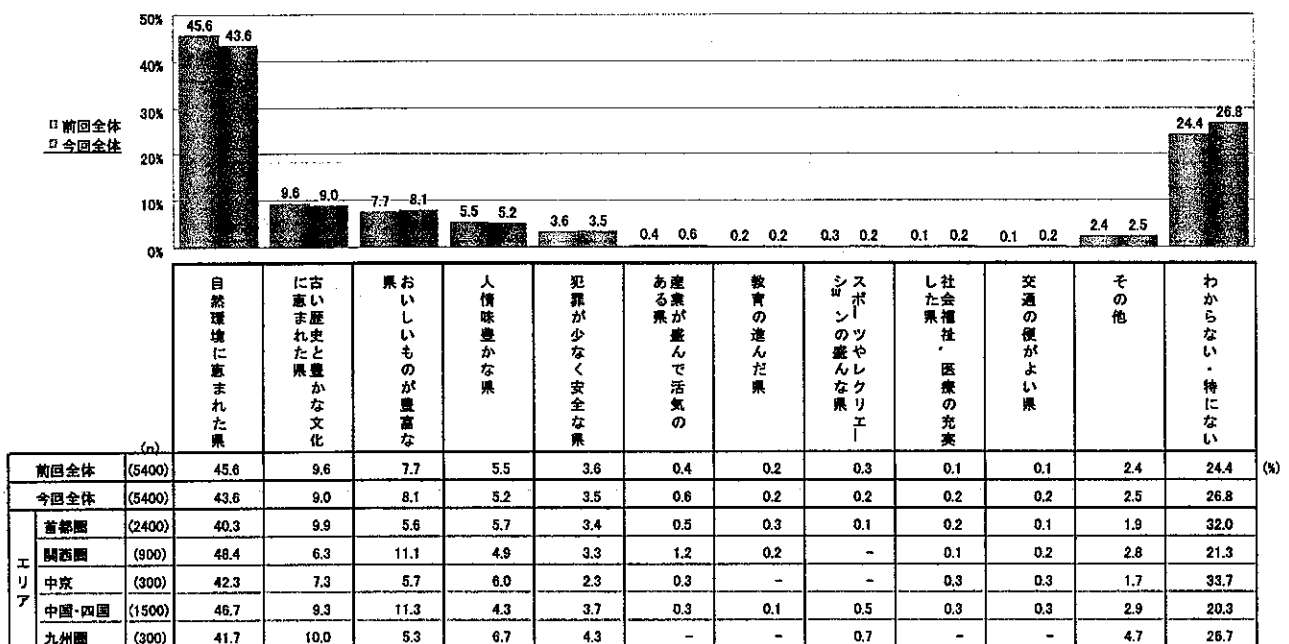
【対象者: 全員】

11

## 2-4. 鳥取県に最もあてはまる県のイメージ

- ◆ 『鳥取県』に対する県イメージをみると、「自然環境に恵まれた県」(44%)が突出している。以下、「古い歴史と豊かな文化に恵まれた県」(9%)、「おいしいものが豊富な県」(8%)、「人情味豊かな県」(5%)、「犯罪が少なく安全な県」(4%)が続く。一方、「わからない・特にない」は27%となっている。
- ◆ 前回とほぼ同様の傾向。
- ▶ エリア別に見ると、首都圏、中東で「わからない・特にない」が高い傾向。

Q9. あなたは鳥取県をどのような県だと思いますか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



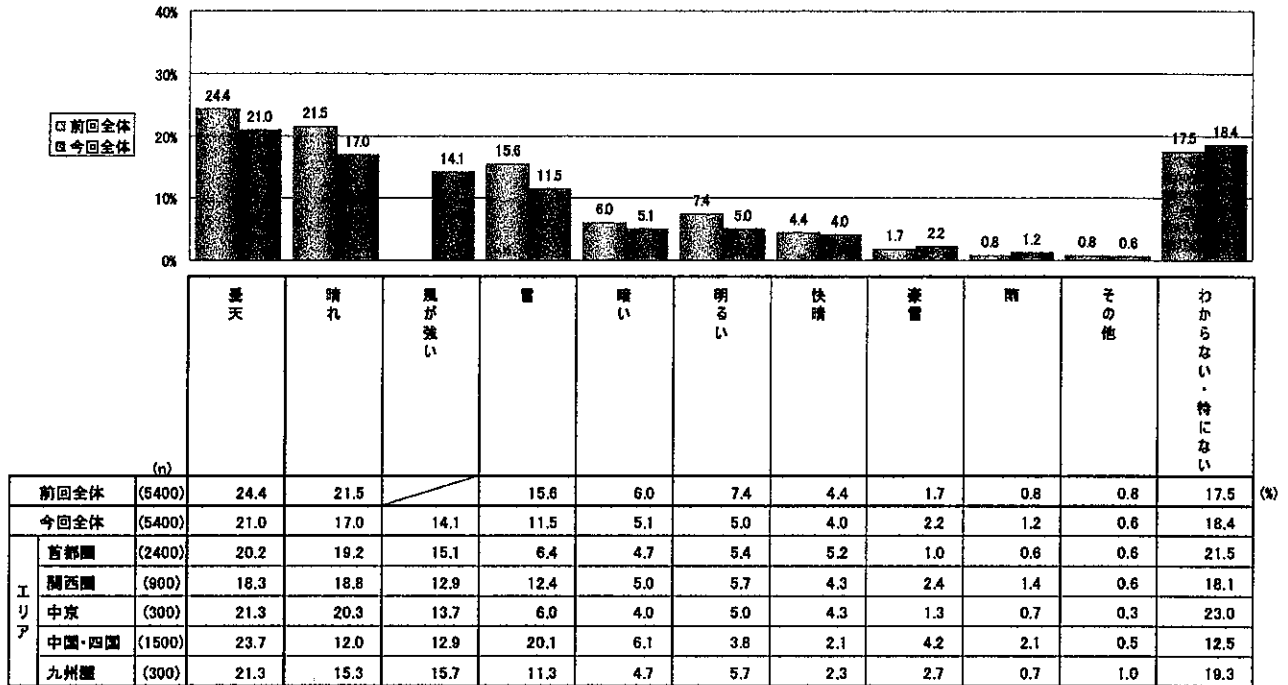
【対象者: 全員】

12

## 2-5. 鳥取県の天候に対するイメージ

- ◆ 「鳥取県」の天候に対するイメージは、「曇天」(21%)が最も高く、次いで「晴れ」(17%)、「風が強い」(14%)、「雪」(12%)となっている。
- ◆ 前回とほぼ同様の傾向となっている。ただし、前回選択肢になかった「風が強い」が、今回は3位にランキングされている。
- ▶ エリア別で見ると、各エリアとも概ね「曇天」「晴れ」イメージが中心となっている中で、中国・四国では「雪」イメージが強いが目立つ。

Q10. あなたが鳥取県の天候に対して持っているイメージに最も当てはまるものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



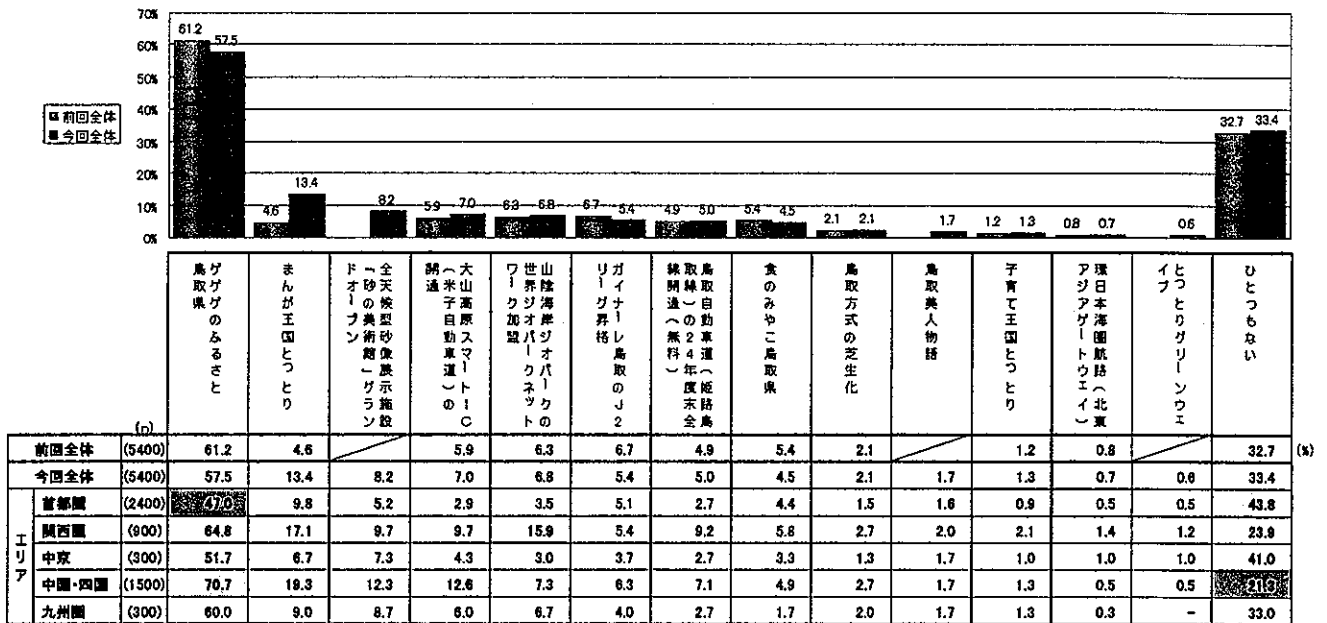
【対象者：全員】

13

## 3-1. 見聞きしたことのある鳥取県に関する話題

- ◆ 最近の「鳥取県」に関する話題で聞いたことがあるものは、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」(58%)が6割で突出している。以下、「まんが王国とっとり」(13%)、「全天候型砂像展示施設「砂の美術館」グランドオープン」(8%)、「大山高原スマートIC(米子自動車道)の開通」「山陰海岸ジオパークの世界ジオパークネットワーク加盟」(各7%)など、1割台以下のスコアとなっている。
- ◆ 前回と比較して、「まんが王国とっとり」が9ポイント上昇した。
- ▶ エリア別に見ると、「ゲゲゲのふるさと鳥取県」で関西圏、中国・四国、「まんが王国とっとり」で中国・四国が高くなっている。

Q11. 最近の鳥取県の話題に関するものです。あなたが聞いたことのあるものを全てを選んでください。(いくつでも)



※「鳥取自動車道(経路鳥取線)の24年度末全線開通(無料)」は、前回は「鳥取自動車道の県内区間無料開放」で既取  
 ※「大山高原スマートIC(米子自動車道)の開通」は、前回は「スマートICの開通(大山高原)」で既取

【対象者：全員】

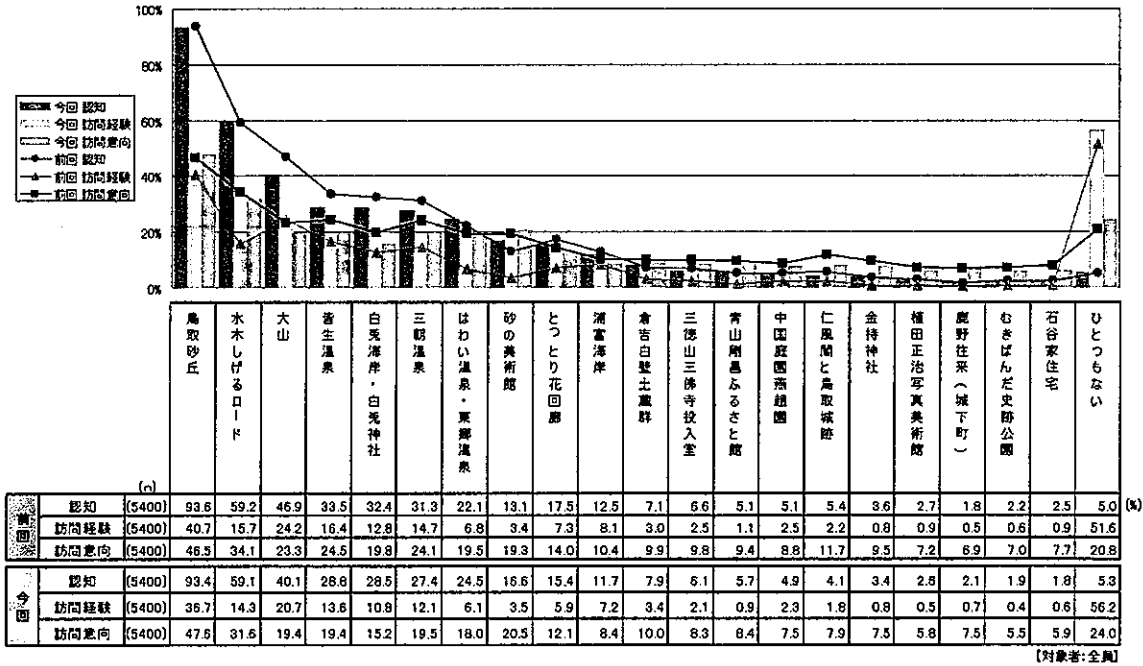
14



### 3-3. 鳥取県の「観光地」の認知・訪問経験・訪問意向 (1) 全体一覽

- ◆ 「鳥取県」の「観光地」などの認知をみると、「鳥取砂丘」(93%)が9割超と非常に高くなっている。次いで、「水木しげるロード」(59%)以下、「大山」(40%)、「養生温泉」白兎海岸・白兎神社(各29%)、「三朝温泉」(27%)。
- ◆ 訪問経験のある場所は、「鳥取砂丘」(37%)、「大山」(21%)、「水木しげるロード」(15%)、「養生温泉」(各14%)、「三朝温泉」(12%)。
- ◆ 訪問意向のある場所は、「鳥取砂丘」(48%)、「水木しげるロード」(32%)、「砂の美術館」(21%)、「三朝温泉」(20%)。
- ◆ すべての指標で、「鳥取砂丘」「水木しげるロード」は上位にランキングされている。
- ◆ どの指標も、前回とほぼ同様の傾向がみられる。

Q13.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、[1]知っているもの、[2]行ったことがあるもの、[3]行ってみたいと思うもの、をそれぞれ全て選んでください。(それぞれいくつでも)



17

### 3-3. 鳥取県の「観光地」の認知・訪問経験・訪問意向 (2) 認知

- 「鳥取県」の「観光地」などの認知率をエリア別にみると、関西圏、中国・四国では全体的に認知率が高くなっている。
- エリア×年代別では、関西圏、中国・四国、九州圏などで高年代層の認知率の高さが目立っている。
- 一方、首都圏、中東では、全体的に認知率が低い傾向となっている。

Q13.鳥取県の「観光地等」で、あなたが、[1]知っているものを全て選んでください。(いくつでも)

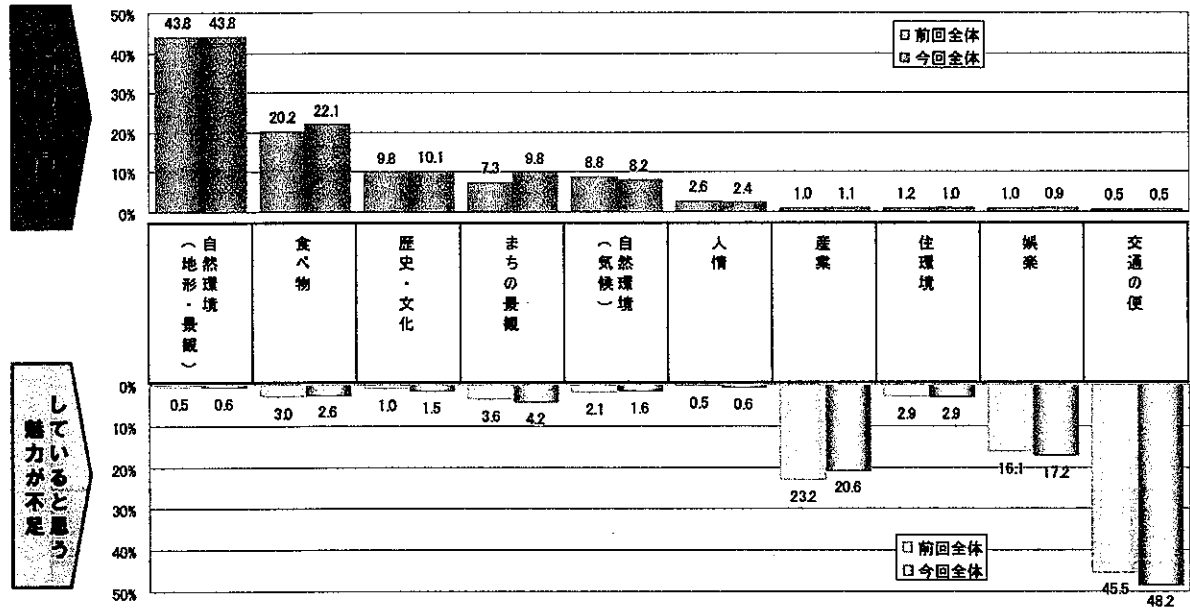
	鳥取砂丘	水木しげるロード	大山	養生温泉	白兎海岸・白兎神社	三朝温泉	はわい温泉・東郷温泉	砂の美術館	とっとり花回廊	浦富海岸	倉吉白壁土蔵群	三徳山三佛寺投入堂	青山剛憲ふるさと館	中国庭園燕趙園	仁風閣と鳥取城跡	金持神社	植田正治写真美術館	鹿野往來(城下町)	むきばんだ史跡公園	石谷家住宅	ひとつもらない	
前回全体 (5400)	93.6	59.2	46.9	33.5	32.4	31.3	22.1	13.1	17.5	12.5	7.1	6.6	5.1	5.1	5.4	3.6	2.7	1.8	2.2	2.5	5.0	
今回全体 (5400)	93.4	59.1	40.1	28.8	28.5	27.4	24.5	16.6	15.4	11.7	7.9	6.1	5.7	4.9	4.1	3.4	2.8	2.1	1.9	1.8	5.3	
東海圏 (2400)	91.8	57.9	33.8	23.8	20.9	24.4	21.3	13.4	9.3	2.4	5.9	4.2	2.4	2.6	1.5	2.8	1.9	1.8	1.7	1.0	1.0	6.7
10代 (298)	81.9	40.3	10.1	4.4	1.1	3.7	2.0	7.0	2.3	4.4	2.0	3.7	4.0	1.7	4.0	1.0	1.7	2.7	1.7	1.3	1.5	15.1
20代 (502)	89.2	41.4	10.0	4.0	1.6	3.7	1.0	8.0	2.0	3.8	0.8	1.8	3.2	0.8	1.0	0.8	1.0	0.8	0.6	0.6	0.6	9.6
30代 (400)	94.0	57.0	16.0	10.3	14.8	7.2	17.8	7.5	10.0	4.8	2.0	2.0	3.0	1.5	1.3	1.5	1.3	1.5	1.0	1.0	1.0	5.0
40代 (400)	93.8	51.5	29.0	16.8	20.5	10.5	16.0	9.5	3.3	5.3	3.0	2.0	1.8	1.8	2.3	2.3	1.0	1.5	1.0	1.0	5.0	
50代 (400)	94.5	55.8	32.5	18.0	26.8	19.8	15.0	8.3	10.0	6.0	5.5	2.3	2.8	1.8	2.5	2.8	2.3	2.0	0.5	0.5	3.8	
60代以上 (400)	95.5	51.3	44.8	34.5	40.8	35.3	44.0	14.3	14.0	11.3	12.3	3.3	1.3	2.0	5.0	3.3	3.8	2.3	1.8	1.5	3.0	
関西圏 (900)	95.2	67.4	53.9	41.3	38.0	42.3	35.9	21.0	17.9	19.3	13.0	10.7	9.1	6.6	6.8	4.3	3.2	3.2	3.6	3.0	3.8	
10代 (140)	91.4	51.4	28.9	17.9	21.4	13.0	17.9	12.1	10.0	13.6	4.3	5.0	9.3	5.7	4.3	2.9	1.4	2.9	2.1	2.1	7.1	
20代 (180)	95.0	73.8	33.8	20.0	28.8	21.3	30.6	24.4	18.8	10.8	5.6	6.9	19.4	5.6	6.3	3.8	3.8	2.5	4.4	1.9	3.1	
30代 (150)	98.7	68.7	47.3	30.0	22.7	27.3	30.7	10.0	14.0	9.3	6.0	7.3	5.3	5.3	3.3	4.0	2.0	0.7	2.0	1.3	3.3	
40代 (150)	95.3	74.0	62.0	39.0	46.7	52.7	47.3	20.0	18.0	18.0	13.3	12.0	10.0	6.7	6.7	3.3	2.7	3.3	2.7	4.0	4.0	
50代 (150)	98.0	68.7	74.6	57.3	54.0	61.3	41.3	22.0	20.0	28.7	15.3	13.3	3.3	6.0	8.0	4.0	4.0	2.7	3.3	2.0	1.3	
60代以上 (150)	94.7	68.7	78.7	72.7	80.0	75.3	48.7	38.7	28.0	38.0	33.3	18.3	6.7	10.0	12.0	8.0	5.3	7.3	6.7	6.7	4.0	
中東 (300)	90.3	49.3	24.0	13.0	18.0	20.3	17.3	10.7	10.0	4.7	8.3	1.0	1.7	1.0	2.3	1.0	0.3	0.7	-	0.7	9.0	
10代 (50)	27.0	20.0	10.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	20.0
20代 (50)	92.0	54.0	10.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	8.0
30代 (50)	88.0	54.0	10.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	12.0
40代 (50)	94.0	54.0	10.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
50代 (50)	92.0	52.0	40.0	20.0	22.0	28.0	22.0	10.0	20.0	4.0	10.0	2.0	-	2.0	4.0	2.0	2.0	2.0	-	-	6.0	
60代以上 (50)	100.0	58.0	58.0	58.0	40.0	88.0	24.0	18.0	10.0	10.0	14.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.0
中国・四国 (1500)	95.1	73.3	62.7	48.5	37.5	44.3	37.8	28.1	38.5	18.1	11.1	10.8	9.5	10.5	5.3	6.1	3.9	2.4	2.6	2.7	3.5	
10代 (89)	84.8	59.1	49.9	38.0	21.2	13.0	13.0	22.7	24.2	12.2	7.6	4.5	10.8	6.1	7.6	7.8	8.1	4.5	6.1	8.1	12.1	
20代 (432)	92.8	69.1	49.3	29.8	19.7	15.0	20.8	19.7	25.7	4.6	3.0	4.2	12.0	4.2	3.5	1.9	1.2	0.9	1.6	0.7	5.1	
30代 (282)	94.4	75.8	58.3	42.5	30.2	38.1	37.3	23.8	36.5	15.9	9.5	9.5	12.7	9.5	3.2	7.5	2.8	1.2	2.8	2.0	3.2	
40代 (272)	97.2	71.8	67.8	58.0	41.8	51.8	41.3	23.2	41.2	20.0	10.8	11.2	10.0	11.6	6.4	5.2	4.8	3.8	4.0	2.8	1.8	
50代 (250)	96.8	74.8	78.8	73.8	48.8	68.8	50.0	34.8	51.8	30.8	18.0	12.0	8.4	14.4	8.0	10.0	6.0	2.4	3.2	3.2	2.4	
60代以上 (280)	97.2	80.0	84.8	78.4	64.4	78.0	68.0	24.4	56.4	38.0	23.2	23.8	4.4	18.8	6.4	8.4	6.0	4.4	1.2	5.6	2.4	
九州圏 (300)	95.3	61.7	37.7	24.7	22.7	17.7	21.0	20.3	18.0	6.0	7.3	3.3	4.7	2.7	3.7	2.7	2.3	3.0	2.0	1.3	4.0	
10代 (40)	85.0	37.0	10.0	7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	10.0	-	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	-	-	-	15.0	
20代 (80)	98.7	58.3	11.0	6.0	6.0	6.0	18.7	18.7	19.0	5.0	1.7	5.0	11.7	1.7	3.3	5.0	3.3	3.3	1.7	-	1.7	
30代 (50)	100.0	62.0	30.0	6.0	6.0	6.0	22.0	20.0	6.0	2.0	4.0	2.0	4.0	2.0	2.0	2.0	2.0	4.0	2.0	-	-	
40代 (50)	94.0	68.0	40.0	20.0	20.0	20.0	22.0	20.0	6.0	2.0	6.0	-	-	4.0	2.0	-	-	-	-	-	6.0	
50代 (50)	98.0	68.0	58.0	44.0	30.0	22.0	20.0	22.0	20.0	4.0	10.0	-	-	2.0	2.0	-	-	-	2.0	2.0	4.0	
60代以上 (50)	98.0	72.0	78.0	64.0	58.0	54.0	38.0	32.0	12.0	20.0	20.0	10.0	8.0	8.0	6.0	4.0	8.0	10.0	6.0	6.0	6.0	

18

### 3-4. 鳥取県の魅力点と魅力不足点 (1)全体一覽

- ◆ 「鳥取県」に関して【魅力的だと思うもの】は、「自然環境(地形・景観)」(44%)がトップ。以下、20ポイント以上の差で、「食べ物」(22%)、「歴史・文化」「まちの景観」(各10%)、「自然環境(気候)」(8%)と続く。
- ◆ 一方、【魅力が不足していると思うもの】は、「交通の便」(48%)がトップ。以下、「産業」(21%)、「娯楽」(17%)となっている。
- ◆ 【魅力的だと思うもの】(魅力が不足していると思うもの)ともに、前回と同様の傾向。

Q14. 鳥取県について、[1]魅力的だと思うもの、[2]魅力が不足していると思うもの、をそれぞれ1つ選んでください。(それぞれひとつだけ)



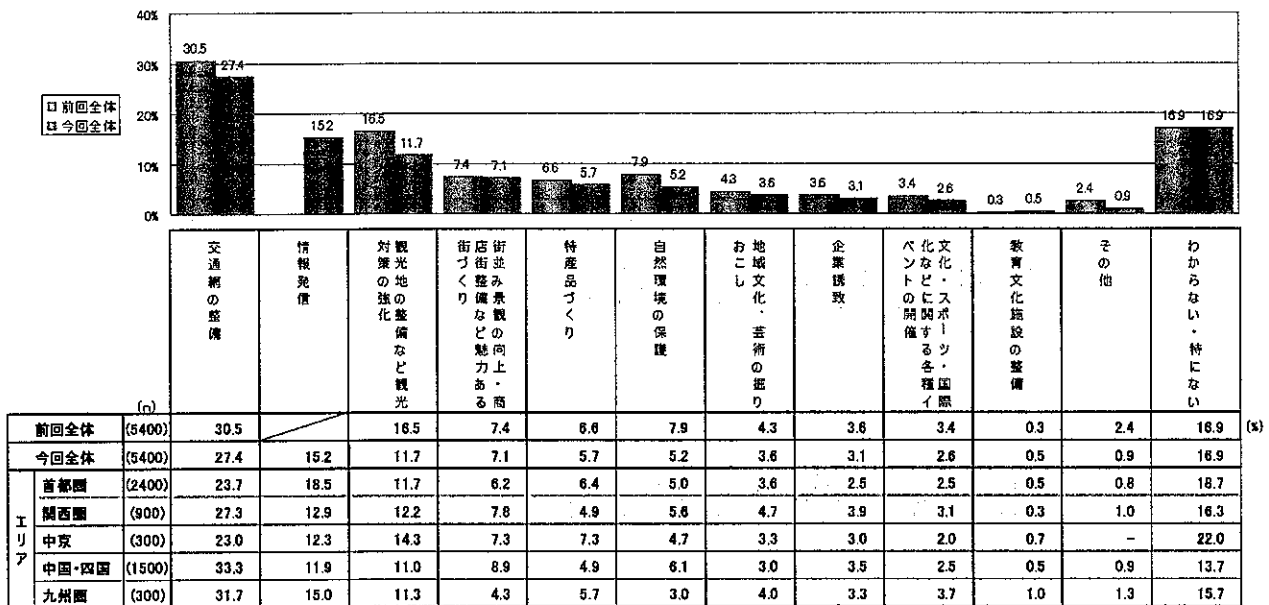
※「歴史・文化」は、前回は「歴史・伝統」「文化」を別々に聴取(前回数字は「歴史・伝統」のスコア)

【対象者:全県】(n=5400)

### 3-5. 鳥取県の魅力向上に必要な分野

- ◆ 今後、「鳥取県」の魅力を高めていくために、力を入れていく必要があると思う分野は、「交通網の整備」(27%)が最も高い。次いで、「情報発信」(15%)、「観光地の整備など観光対策の強化」(12%)、「街並み景観の向上・高店街整備など魅力ある街づくり」(7%)、「特産品づくり」(6%)となっている。
- ◆ 前回とはほぼ同様の傾向だが、今回新規の選択肢「情報発信」が2位にランキングされた。
- > エリア別に見ると、「交通網の整備」で中国・四国の割合が高くなっている。

Q15. 鳥取県の魅力を高めていくためには、どのような分野に力を入れていくことが必要だと思いますか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

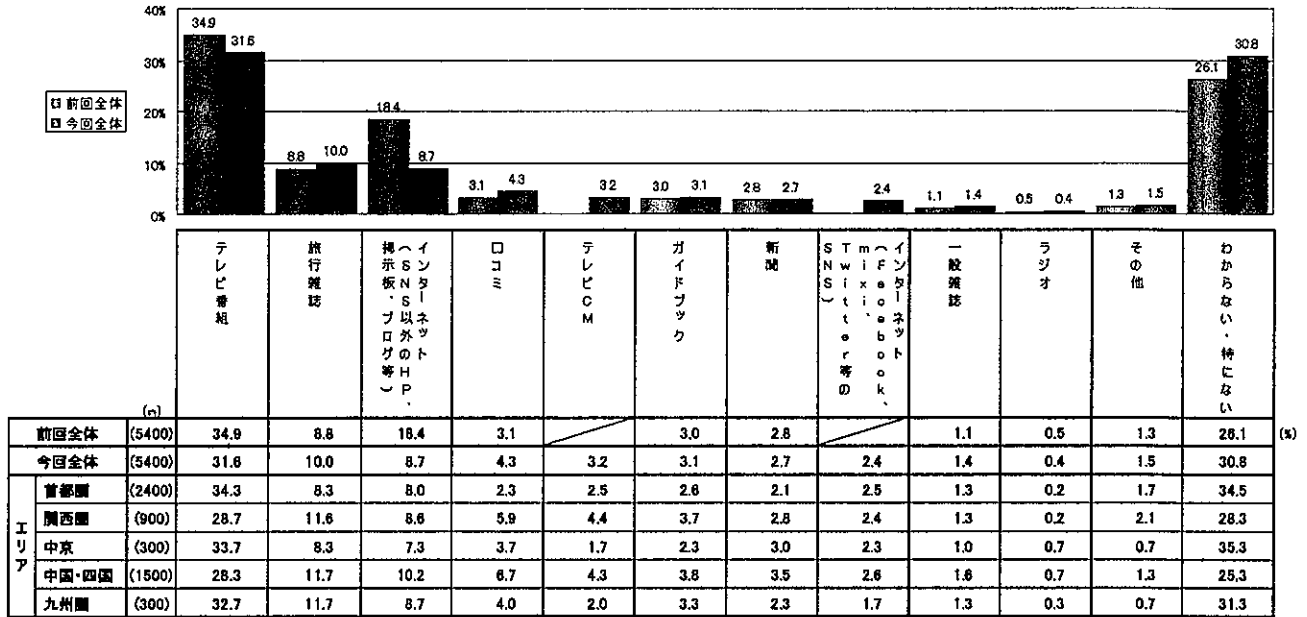


【対象者:全県】

### 3-6. 鳥取県に関する主な情報入手経路

- ◆ 「鳥取県」に関する情報の入手経路をみると、「テレビ番組」(32%)が3割で最も高くなっている。以下、「旅行雑誌」(10%)、「インターネット」(SNS以外のHP掲載、ブログ等) (9%)、「口コミ」(4%)が続く。
- ◆ 前回と比較すると、今回は「テレビ」および「インターネット」の選択数を細分化したため、見かけのスコアが低くなっているが、全体的には前回と同様の傾向となっている。
- ▶ エリア別にみると、特に大きな差はみられない。

Q16. あなたは、鳥取県に関する情報を、どこから得ることが多いですか。最も主要なものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



※「テレビ番組」「テレビCM」は、前回は「テレビ」で聴取

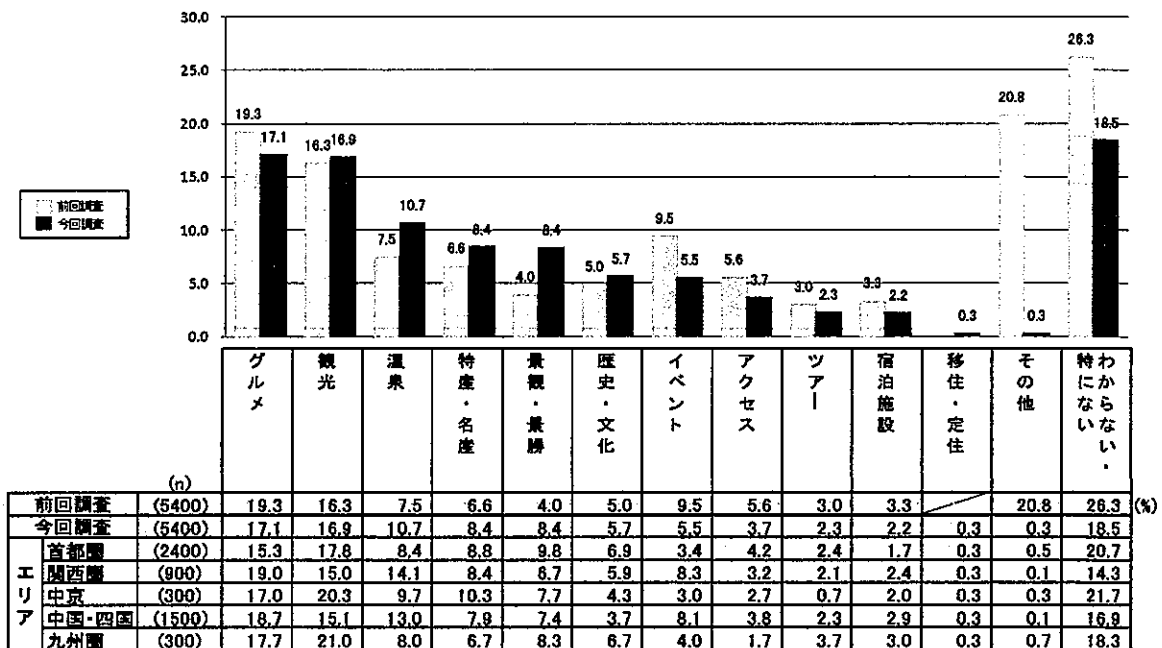
※「インターネット (SNS以外のHP、掲載、ブログ等)」「インターネット (Facebook, mi, Twitter等のSNS)」は、前回は「インターネット」で聴取

【対象者：全員】

### 3-7. 鳥取県から今後得たい情報

- ◆ 「鳥取県」について得たい情報は、「グルメ」「観光」(各17%)がともにトップ。以下、「温泉」(11%)、「特産・名産」「景観・景勝」(各8%)となっている。
- ◆ 前回と比較すると、「わからない・特にない」が引き続き最も回答が多く関心の低さがうかがえる。
- ▶ エリア別にみると、特に大きな差はみられない。
- ▶ また、偏差ではあるが、関西圏、中国・四国では「グルメ」、首都圏、中京、九州圏では「観光」がそれぞれトップスコアとなっている。

Q25. 鳥取県について、あなたは、今後どのような情報を得たいですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



※前回は自由回答、今回は選択式で聴取。

【対象者：全員】

## 4-1. 鳥取県への訪問意向

- ◆ 『鳥取県』に「行ってみたい」と答えた人は75%。
- ◆ 前回とほぼ同様のスコアとなっている。
- ▶ エリア別みると、関西圏(83%)で訪問意向率が8割を超えている。
- ▶ エリア×年代別では、どのエリアも高年代層のスコアが高い傾向となっている。特に、関西圏20代以上、中国・四国30代以上、中京40代以上、九州圏50代以上、首都圏60代以上では、訪問意向率が概ね8割以上となっている。

Q17. あなたは、鳥取県に行ってみたいと思いますか。(ひとつだけ)

	(n)	(%)	
		行ってみたい	行きたくない
前回全体	(5400)	73.2	21.8
今回全体	(5400)	73.0	25.0
エリア別			
首都圏	(2400)	72.0	28.0
10代	(298)	69.7	39.3
20代	(502)	70.3	29.7
30代	(400)	72.0	28.0
40代	(400)	74.3	28.8
50代	(400)	74.5	25.5
60代以上	(400)	80.3	19.3
関西圏	(900)	83.0	17.3
10代	(140)	71.4	29.6
20代	(180)	81.3	14.4
30代	(150)	72.0	20.7
40代	(150)	81.0	16.0
50代	(150)	83.0	14.0
60代以上	(150)	87.0	11.3
中京	(300)	74.0	27.0
10代	(50)	64.0	46.0
20代	(50)	74.0	26.0
30代	(50)	72.0	30.0
40代	(50)	73.0	22.0
50代	(50)	80.0	20.0
60代以上	(50)	82.0	18.0

	(n)	(%)	
		行ってみたい	行きたくない
前回全体	(5400)	73.2	21.8
今回全体	(5400)	73.0	25.0
中国・四国	(1500)	76.3	23.7
10代	(66)	63.7	31.8
20代	(432)	75.5	31.5
30代	(282)	77.0	23.8
40代	(250)	87.4	19.5
50代	(250)	81.2	18.8
60代以上	(250)	83.2	16.8
九州圏	(300)	72.0	28.0
10代	(40)	60.0	40.0
20代	(60)	85.7	33.3
30代	(50)	83.0	32.0
40代	(50)	82.0	34.0
50代	(50)	82.0	18.0
60代以上	(50)	83.0	12.0

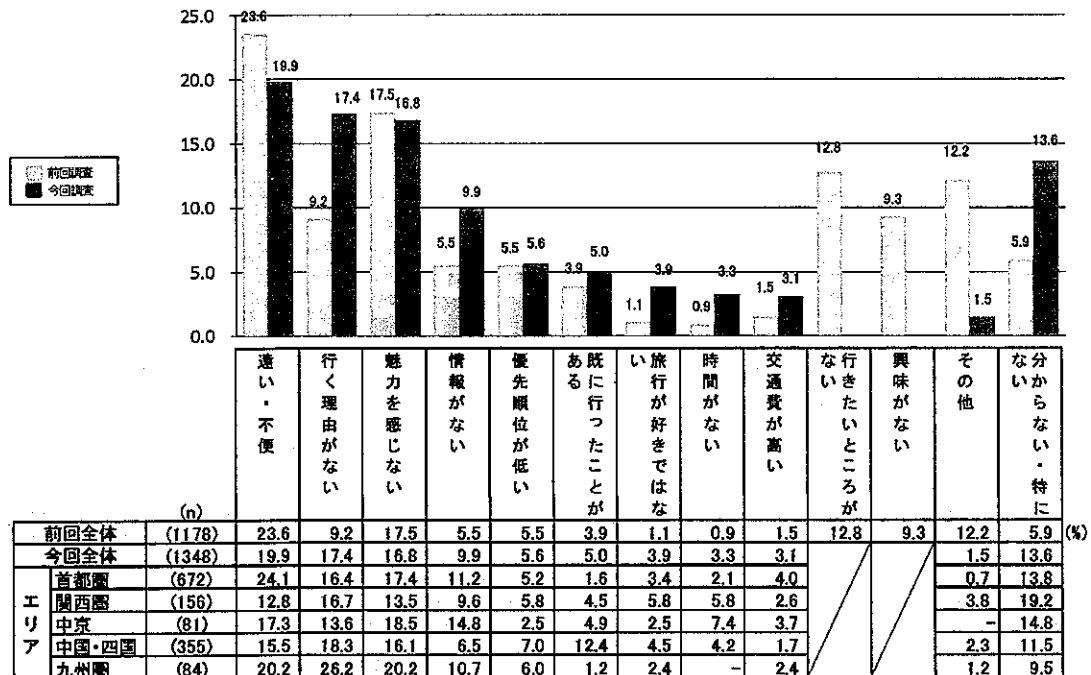
【対象者: 全国】

23

## 4-2. 鳥取県への訪問意向(行きたくない理由)

- ◆ 前問で、『鳥取県』に「行きたくない」と回答した人の理由は、「遠い・不便」(20%)が前回と同様に最も高く、次いで「行く理由がない」「魅力を感じない」(各17%)、「情報がない」(10%)となっている。
- ▶ エリア別みると、「行く理由がない」で九州圏、「既に行ったことがある」で中国・四国の割合が高くなっている。
- ▶ 一方、関西圏では、全体トップの「遠い・不便」という理由は低く、「わからない・特になし」が最も高くなっている。

Q18. 前問で「行きたくない」とお答えの方にお伺いします。その理由は何ですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



※前回は自由回答、今回は選択式(ひとつだけ)で聴取。  
※前回の「行きたいところがない」「興味が無い」は、今回の選択肢に含めず。

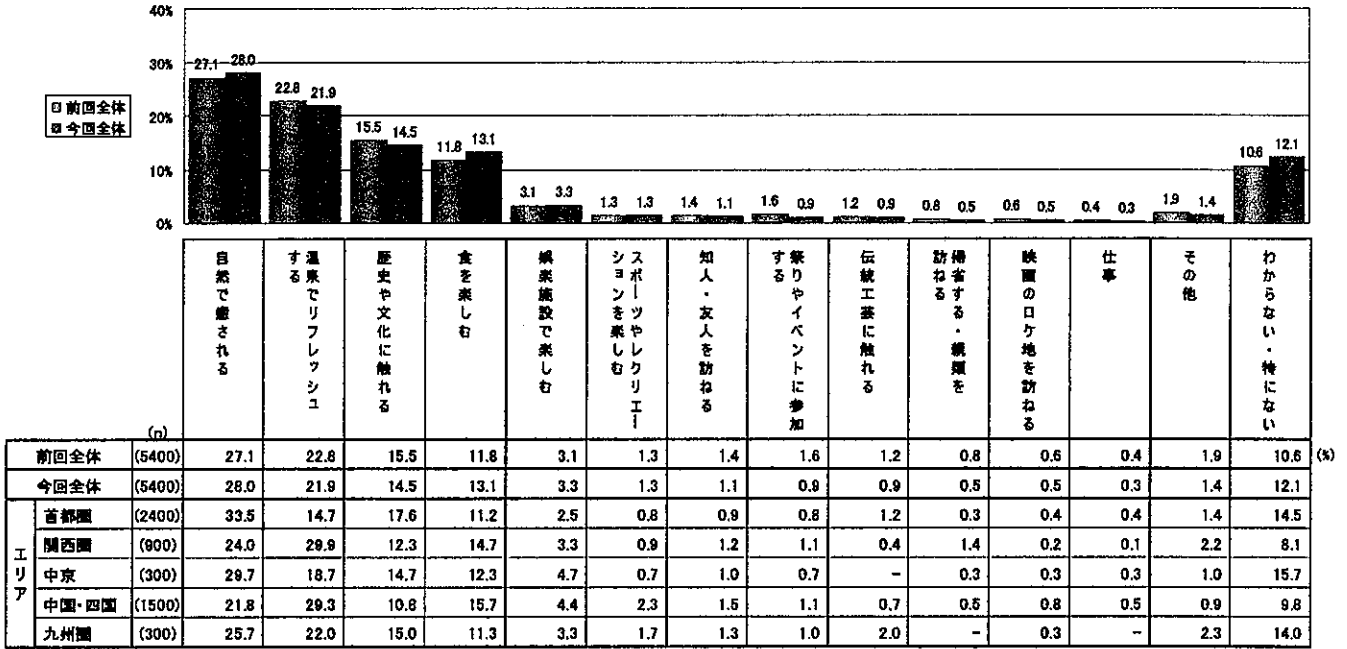
【対象者: 鳥取県への非訪問意向者】

24

### 4-3. 鳥取県への訪問時の主要目的

- ◆ 今後、「鳥取県」を訪れる場合の主要目的をみると、「自然で癒される」(28%)、「温泉でリフレッシュする」(22%)が2割台で上位。以下、「歴史や文化に触れる」(15%)、「食を楽しむ」(13%)が1割台で続く。
- ◆ 前回と同様の傾向となっている。
  - > エリア別に見ると、首都圏で「自然で癒される」、関西圏、中国・四国で「温泉でリフレッシュする」が高くなっている。

Q19. 今後、鳥取県を訪れるとした場合、何を目的に訪れたいですか。最も主要なものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



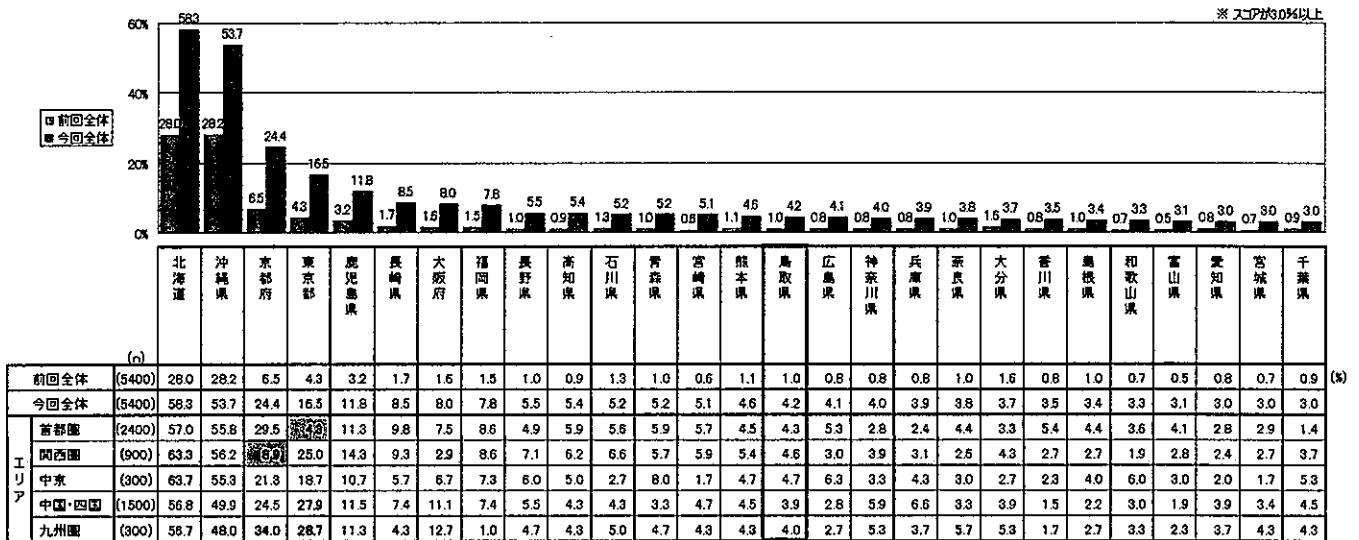
【対象者:全員】

25

### 4-4. 現在、最も行ってみたい都道府県

- ◆ 今後、最も行ってみたい都道府県は、「北海道」(58%)、「沖縄県」(54%)が非常に高い。以下、「東京都」(24%)、「東京都」(17%)、「鹿児島県」(12%)と続く。
- ◆ 「鳥取県」は4%で15位となっている。
- ◆ 前回と同様の傾向がみられる(前回「鳥取県」は12位)。(ただし、今回は3つ選択、前回は1つだけ選択のため、スコアは今回が全体的に高くなっていることに留意。)
- > エリア別に見ると、「北海道」は関西圏、中京、「東京都」は首都圏、九州圏、「東京都」は関西圏、中国・四国、九州圏で高い。

Q20. あなたが、今、最も行ってみたい都道府県はどこですか。3つ選んでください。(必ず3つ)



※ 前回は1つだけ選択

【対象者:全員】

26



## 4-5. 鳥取県への訪問意向ランキング順位

- ◆ 『鳥取県』について、行ってみたい都道府県ランキングをみると、「31～47位」(35%)、「21～30位」(29%)、「11～20位」(23%)、「1～10位」(14%)となっている。
- ◆ 前回とほぼ同様の傾向。
  - ▶ エリア別にみると、関西圏では「11～20位」の比率が高く、「31～47位」の比率が低い。その結果、「20位以内」と回答した人が47%を占めている。
  - ▶ エリア×年代別では、『鳥取県』を「1～10位」にあげた人の割合は、関西圏20・60代以上、中京60代以上、中国・四国60代以上で2割を超えている。

Q21. あなたが行ってみたい都道府県を、1位から47位までランキング順位付けした場合、鳥取県のランキングは概ねどのあたりですか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

	(n)	(%)		
		11～20位	21～30位	31～47位
前回全体	(5400)	24.6	30.6	31.8
今回全体	(5400)	22.8	28.9	34.8
首都圏	(2400)	20.9	27.8	39.2
10代	(298)	18.1	25.5	46.6
20代	(502)	20.3	30.5	37.6
30代	(400)	18.5	28.3	41.0
40代	(400)	18.5	25.3	44.0
50代	(460)	22.5	29.0	37.0
60代以上	(400)	26.8	26.5	31.3
関西圏	(900)	30.0	30.9	22.8
10代	(140)	22.1	32.1	27.9
20代	(160)	30.6	30.6	18.8
30代	(150)	26.0	31.3	28.0
40代	(150)	37.3	34.0	16.0
50代	(150)	28.0	37.3	20.0
60代以上	(150)	35.3	20.0	24.0
中京	(300)	20.7	27.7	39.0
10代	(50)	14.2	28.0	44.0
20代	(50)	26.0	32.0	36.0
30代	(50)	24.0	22.0	44.0
40代	(50)	16.0	28.0	48.0
50代	(50)	24.0	38.0	24.0
60代以上	(50)	20.0	18.0	40.0

	(n)	(%)		
		11～20位	21～30位	31～47位
前回全体	(5400)	24.6	30.6	31.8
今回全体	(5400)	22.8	28.9	34.8
中国・四国	(1500)	22.8	29.2	33.5
10代	(66)	19.7	31.8	31.8
20代	(432)	22.9	31.0	35.1
30代	(252)	21.4	27.8	37.3
40代	(280)	19.6	32.6	33.2
50代	(280)	26.8	26.0	33.2
60代以上	(250)	24.0	26.4	28.4
九州圏	(300)	19.3	30.7	39.0
10代	(40)	20.0	27.5	47.5
20代	(60)	20.0	31.7	33.3
30代	(50)	14.0	32.0	46.0
40代	(50)	15.0	26.0	51.0
50代	(50)	16.0	32.0	34.0
60代以上	(50)	28.0	34.0	20.0

【対象者：全員】

27

## 4-6. 鳥取県の満足度

- ◆ 『鳥取県』に訪問・居住経験が「ある」と回答した人の、『鳥取県』の「おもてなし」に対する満足度をみると、「非常に満足」(4%)、「概ね満足」(33%)であり、「満足計」は37%となっている。
- ▶ エリア別にみると、特に大きな差はみられない。
- ▶ エリア×年代別では、首都圏10代、関西圏10・20・60代以上で満足度が高くなっている。(サンプル数最少の属性は参考値)

Q22. 鳥取県を「訪れたことがある」又は鳥取県に「居住したことがある」とお答えの方にお伺いします。他の都道府県と比べ鳥取県(県民・施設・店舗等)のあなたに対する「おもてなし」はいかがでしたか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)

	(n)	(%)				満足計
		非常に満足	概ね満足	普通	概ね不満足	
今回全体	(2437)	4.0	33.0	57.5	6.0	37.0
首都圏	(622)	4.7	31.4	59.5	4.4	36.0
10代	(35)	8.6	37.1	45.7	1.6	48.6
20代	(77)	3.9	26.6	57.1	1.4	36.4
30代	(89)	3.3	33.7	56.2	6.8	39.3
40代	(111)	4.5	26.1	64.0	5.4	30.6
50代	(134)	2.2	38.6	59.7	9.5	38.8
60代以上	(176)	3.4	29.5	61.9	5.2	33.0
関西圏	(592)	5.1	34.6	54.1	6.2	39.7
10代	(69)	7.2	36.2	49.3	7.3	43.5
20代	(82)	3.7	41.5	48.8	6.0	45.1
30代	(85)	3.7	28.2	58.8	7.3	32.9
40代	(115)	3.5	32.2	59.0	4.3	40.0
50代	(118)	2.5	30.5	59.3	7.7	33.1
60代以上	(123)	3.3	39.8	52.8	4.1	44.7
中京	(108)	3.7	37.0	55.6	3.7	38.9
10代	(9)	0.0	22.2	66.7	11.1	22.2
20代	(14)	0.0	57.1	42.9	0.0	57.1
30代	(15)	0.0	33.3	60.0	0.0	40.0
40代	(14)	0.0	42.9	57.1	0.0	50.0
50代	(23)	0.0	34.8	65.2	0.0	34.8
60代以上	(33)	0.0	33.3	57.6	11.1	33.3

	(n)	(%)				満足計
		非常に満足	概ね満足	普通	概ね不満足	
今回全体	(2437)	4.0	33.0	57.5	6.0	37.0
中国・四国	(1000)	3.4	32.4	58.7	5.5	35.8
10代	(37)	2.7	35.1	51.4	10.8	37.8
20代	(212)	4.7	30.7	56.6	7.5	35.4
30代	(159)	3.8	27.7	62.9	5.6	32.1
40代	(189)	3.7	30.7	60.3	5.3	34.4
50代	(193)	3.6	38.3	54.9	3.1	42.0
60代以上	(210)	4.0	33.3	61.0	1.7	34.3
九州圏	(115)	2.6	33.9	55.5	7.0	36.5
10代	(6)	0.0	16.7	83.3	0.0	16.7
20代	(14)	0.0	35.7	50.0	7.1	42.9
30代	(17)	0.0	29.4	58.8	11.8	29.4
40代	(20)	0.0	25.0	70.0	0.0	25.0
50代	(27)	0.0	48.1	37.0	14.9	51.9
60代以上	(31)	3.2	32.3	61.3	3.2	35.5

【対象者：鳥取県に訪問・居住経験者】

28

## 5-1. 「国際まんが博」の開催認知

◆ 「国際まんが博」(8/4~11/25)が開催されたことに対する認知率は15%。

- ▶ エリア別に見ると、関西圏(20%)、中国・四国(21%)では、認知率が2割を超えている。
- ▶ エリア×年代別では、中国・四国10代の認知率が27%で最も高くなっている。それ以外の属性では、関西圏10・20・60代以上、中国・四国40・60代以上、九州圏20代でも認知率が2割以上と高い。

Q23. あなたは、鳥取県で「まんが王国」とり国産を記念したイベント「国際まんが博」が開催されたことを知っていましたか。(ひとつだけ)

エリア×年代	(n)	認知率 (%)	
		知っていました	知らなかった
今回全体	(5400)	15.0	84.6
首都圏	(2400)	14.2	85.8
10代	(298)	18.5	81.5
20代	(502)	19.7	80.3
30代	(400)	18.0	82.0
40代	(400)	17.0	83.0
50代	(400)	19.0	81.0
60代以上	(400)	18.0	82.0
関西圏	(900)	20.0	80.0
10代	(140)	22.1	77.9
20代	(160)	22.5	77.5
30代	(150)	18.0	82.0
40代	(150)	19.3	80.7
50代	(150)	19.3	80.7
60代以上	(150)	19.3	80.7
中国・四国	(300)	21.0	79.0
10代	(50)	27.0	73.0
20代	(50)	21.0	79.0
30代	(50)	18.0	82.0
40代	(50)	19.0	81.0
50代	(50)	19.0	81.0
60代以上	(50)	19.0	81.0
九州圏	(300)	19.0	81.0
10代	(40)	22.5	77.5
20代	(60)	20.0	80.0
30代	(50)	18.0	82.0
40代	(50)	19.0	81.0
50代	(50)	19.0	81.0
60代以上	(50)	19.0	81.0

エリア×年代	(n)	認知率 (%)	
		知っていました	知らなかった
今回全体	(5400)	15.0	84.6
中国・四国	(1500)	21.0	79.0
10代	(66)	27.0	73.0
20代	(432)	18.0	82.0
30代	(252)	18.0	82.0
40代	(250)	17.0	83.0
50代	(250)	19.0	81.0
60代以上	(250)	18.0	82.0
九州圏	(300)	19.0	81.0
10代	(40)	22.5	77.5
20代	(60)	20.0	80.0
30代	(50)	18.0	82.0
40代	(50)	19.0	81.0
50代	(50)	19.0	81.0
60代以上	(50)	19.0	81.0

【対象者: 全員】

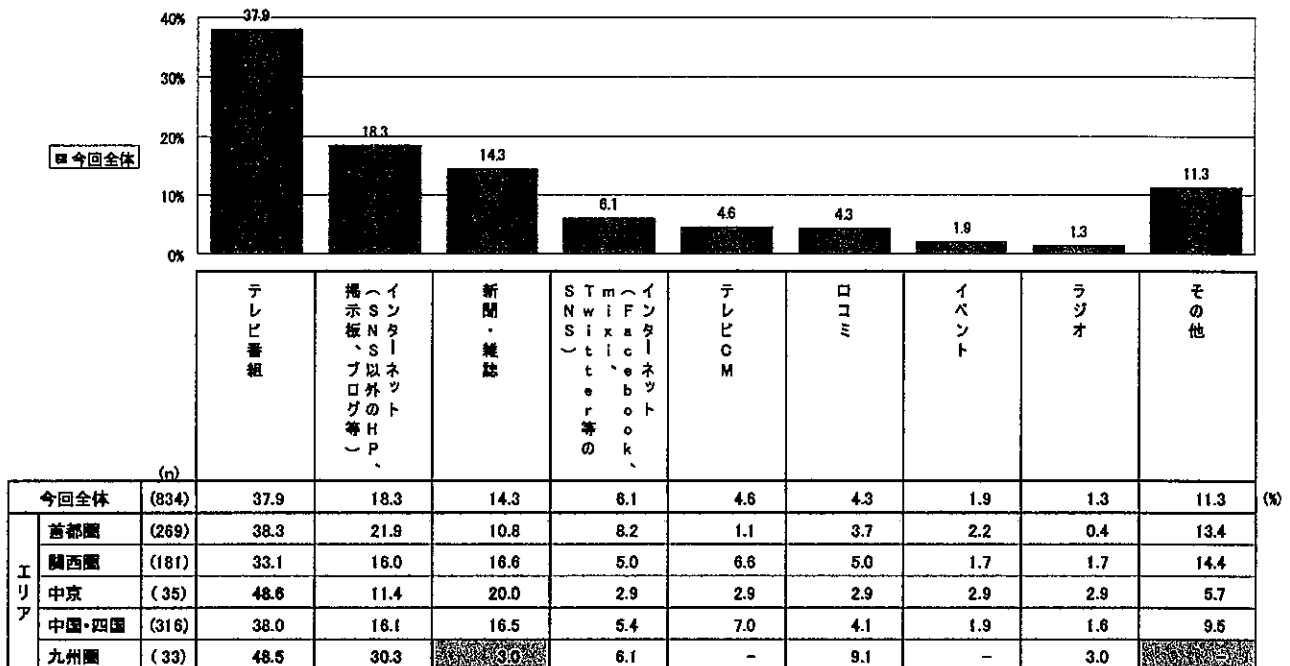
29

## 5-2. 「国際まんが博」の認知経路

◆ 「国際まんが博」開催認知者による、「国際まんが博」開催の認知経路は、「テレビ番組」(38%)が約4割で最も高くなっている。以下、「インターネット(SNS以外のHP、掲示板、ブログ等)」(18%)、「新聞・雑誌」(14%)、「インターネット(Facebook、mixi、Twitter等のSNS)」(6%)、「テレビCM」(5%)、「口コミ」(4%)と続く。

- ▶ エリア別に見ると、「テレビ番組」は中京、九州圏、「インターネット(SNS以外のHP、掲示板、ブログ等)」は九州圏、「新聞・雑誌」は中京の割合が高くなっている。

Q24. 事前で「知っていた」とお答えの方にお伺いします「国際まんが博」が開催されていたことをどのように知りましたか。最も当てはまると思うものを1つ選んでください。(ひとつだけ)



【対象者: 「国際まんが博」の開催認知者】

30

